

彦名通信

2022

6

vol.207

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE



入学式での入学生宣誓

Index

新年度特集

校長挨拶	2
教務主事、学生主事、学生相談室より	3
総合工学科2年目について	4

クラス便り

1年1組	5
1年2組	6
1年3組	7
1年4組	8
1年5組	9
留学生、編入生、専攻科入学生	10
新任教員紹介	11

キャリア支援室より	12
教務部、広報室より	13
学生会より	14
学生の活躍	15

としょぶらり

卒業生は今(vol.27)	24
---------------	----

新入生を迎えて

校長 寺西恒宣

令和4年度、米子工業高等専門学校に本科1年生199名、外国人留学生2名、編入学生6名、専攻科学生23名、合計230名が入学しました。本校の教職員ならびに在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。そして、皆さんの入学を待ち望み、これまで皆さんを育て支えて下さった保護者はじめ関係の皆様、心からお祝いを申し上げます。

さて、本校は、我が国及び世界で活躍する技術者を育てることを使命とする、国内そして鳥取県を代表する国立の高等教育機関です。「6・3・3・4制」によらない高等教育機関であり、「15歳からの5年間一貫教育」「くさび型教育」「実践的専門教育」を普遍の軸として、科学技術の高度化や複雑化、情報化、グローバル化に対応した教育イノベーションを行い、有為な人材を輩出してきました。

特に、昨年度誕生した「総合工学科」は、時代の変化と技術の急速な進歩に対応すべく、教育内容の高度化を目指して、既設の5学科を1学科・5コース制に再編したものです。PBLと言われる課題発見・解決型教育や数理・データサイエンス、リベラルアーツ教育等を通じて、複眼的視野と幅広い知識をもち、自らの専門分野に異分野の知識や技術を融合して、新たな社会的・経済的価値を創出することができる総合力を備えた優秀な人材を養成するもので、非常に高く評価され注目されています。

さらに、専攻科は、本科卒業後2年間において、より専門的で高度なカリキュラム編成により、大学教育に相当する水準の教育を行っております。

また、本校は、「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト」や「全国高専デザインコンペティション」、「全国高専プログラミングコンテスト」のほか、多くのスポーツ競技や文化活動などで優秀な成績を収めており、全国高等専門学校の中でもトップクラスにあります。非常に活気ある明るい学校です。卒業後の進路も、就職のほか、大学3年次への編入学や専攻科、大学院への進学など多岐に渡り、非常に恵まれた環境にあります。

新入生の皆さん、このような高等教育機関の学生として、授業だけでなく、クラブ活動やサークル活動、学生寮における共同生活、さらには研究活動、国際交流などに積極的に参加し、良き友人を得て、素晴らしい学生生活を送ってください。

また、専攻科の皆さんには、さらに高度な専門的知識や技術を学び、豊かな創造力と卓越した研究開発能力を持った実践的開発型技術者として、世界を舞台に、持続可能な社会づくりに貢献できる技術者になっていただくことを期待しております。

皆さんが、本校の恵まれた環境の中で自らを絶えず律し志を高く持ち続け、自分の挑戦の目標・方向性・今後の展開・波及効果などを自問自答しながら進んでいけるように、私たち教職員はしっかりサポートしてまいります。



教務主事、学生主事

コロナ禍だからこそ充実した学生生活を



教務主事 新田 陽一

つい先日の新聞で、大学生を主とする就職活動の記事を目にしました。ここ数年のコロナ禍で学修はもちろん、様々なサークル活動やアルバイト等が制限され、「学生生活で熱心に取り組んだこと」を答えるのに苦慮している学生が多いそうです。もっとも、採用側は学生が「何に取り組んだのか」ではなく、その活動を通じて「物事に対する考え方や姿勢」を見ているので、そういう観点からしっかり答えられればよいという内容でした。

言い方を変えると、限られた条件の中で「できることを一生懸命にやったか？」ということだと思います。本校でも、これまで様々な制限を課してきました。今後、「with コロナ」に舵を切るとしても、そう容易く以前の状態には戻れないでしょう。就職活動のことはさておき、学生諸君にはコロナ禍だからこそ充実した学生生活を送って欲しいと思った次第です。

年度はじめにあたって



学生主事 中山 繁生

令和4年度が始まって、早いもので3カ月が過ぎようとしています。今年度も新型コロナウイルスが課外活動や学校行事に影響を及ぼしています。登校禁止が解除された後に、学生部は各部活動と同好会に対してコロナの感染予防確認を実施しました。学生の皆さんには感染防止対策について説明をしましたが、基本は1人1人が感染予防の意識を持つことが大切です。もう暫くの間は「感染しないだろう」ではなく、「感染するかもしれない」の意識を持ってください。

さて、先日の始業式では皆さんに幾つかのお願いをしましたが、今回はその中の一つである「自分の行動に責任を持つこと」に触れます。例えば日頃使用している SNS、あなたが書き込んだ内容やアップした画像に問題はないですか？ 無意識のうちに誰かを傷つけていませんか？ そして SNS 以外にも、自分の行動を振り返る時間を設けてみませんか。

学生相談室のご案内

学生相談室長 森田 典幸

学生相談室は悩みを抱えた学生へのサポートを行っています。教員の中から任命されたスタッフに加え、校外の専門家によるカウンセリングの機会も提供しています。本年度のスタッフと担当の曜日は以下の通りです。

学生相談室員	大野 政人 (教養教育部門)・遠藤 香菜子 (教養教育部門)
看護師	上本 菜々実 (保健室)
インテーカー	山田 香子 (学生相談室)
カウンセラー	吉岡 伸一 (精神科医・月1回月曜日)
	角南 なおみ (臨床心理士・月2回木曜日)
	竹崎 摩由 (臨床心理士・月3回水曜日)
	伊藤 政志 (臨床心理士・月3回金曜日)
スクール・ソーシャル・ワーカー	廣江 仁 (月2～3回)

学生にはパンフレットを配布し、悩みがある場合は抱え込まずに来室を呼びかけていますが、保護者の皆様におかれましても、家庭での様子がおかしいので尋ねてみても話したがない等の場合は、下記連絡先に手紙と電話で受け付けておりますのでご相談下さい。

【宛 先】 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 米子工業高等専門学校 学生相談室
* 返信先のご住所とお名前をご記入ください。

【電話番号】 0859-24-5262 * 月曜日～金曜日の9:00～17:00

総合工学科発足2年目

総合工学科長 小川和郎

総合工学科は今年で2年目を迎え、2年生の前期では情報システムの基礎を学ぶ「情報基礎Ⅱ」、空間認識能力などを養う「空間認識トレーニング」、各分野に関連する技術発展の歴史などを学ぶ「技術史・科学史」、地元企業や地域産業などを学ぶ「地域学」、学生の主体的な学びの質を高めるための「PBLⅠ」などを共通科目として開講しています。また、後期からはコース配属となり、各コースの専門科目の授業も始まります。

PBLとは問題（課題）解決型学習というアクティブラーニング型の授業で、自主的な探究活動を通じて問題発見力と解決力を養います。1年目となる今年は、さまざまなテーマにグループで取り組んでいます。例えば、アイスブレイクの一環として、ペーパータワーの制作を実施しました。ルールは単純で、紙のみを使い、いかに高く積み上げることがで

きるかをグループで競いました。クラス替えをしたばかりでしたが、各班ともすぐに打ち解け、互いにアイデアを出し合い、試行錯誤しながらどんどん高く積み上げられていきました。計測時のわずかな風で倒れるものもありましたが、高いものは2mを超えるものもあり、お互いを知り合うだけでなく、モノづくりを通して協調性やコミュニケーション力が身についたと思います。

PBLの面白さは、少数派が多数派に勝ったり、議論の途中で結論が変わったりと、展開が読めないことです。この授業では、毎回アンケートを実施し、学んだことや感じたことを振り返るとともに、次回の授業に向けての意気込みなども確認しています。議論や振り返りを繰り返すことにより、より深く問題点を分析・解析する力を身につけてほしいと思います。



グループディスカッション



グループディスカッション



ペーパータワーの制作



ペーパータワーの制作



粟島神社の桜の前で

1-1担任 川 邊 博

【クラスの特徴】

「教室前を通った友人に、うちのクラスが静か過ぎて『引いた』と言われて…」と悔しがっている学生が何人かいました。授業の始まりを待つ間、誰も何もしゃべらず、静かに席に着いていたのでしょうか、姿勢を正して。

【どんなクラスになってもらいたいのか】

それは、新しい世界が何を教えてくれるのかと真剣に待ち望んでいる積極的な姿勢に見えていましたし、クラスに対して言われたことを、クラスのために悔しがっている彼ら彼女らの思いは、無関心からくる静まりとは対極にある思いやりに感じられたものです。

【クラスの学生へのメッセージ】

先日ある授業担当の先生が、わざわざ声を掛けてまだ数回の対面授業を通したクラスの様子を聞かせてくださいました。それはみなさんの好ましい面を的確に捉えられたもので嬉しく思いました。みなさんの、まだまだ潜在的な魅力を確認しています。

入学後の生活

内 田 雅 人

高専に入学して1~2週間、とても大変でした。県外から入学したためクラスに知り合いがひとりもおらず、最初は友達ができるか不安で、勉強も中学校と比べて格段に難しく、慣れるまでに時間がかかりました。今は高専での生活にも慣れてきて、クラスで話せる人が増えてきたし、勉強も難しいけど理解できるようになってきました。しかし、起床時刻や帰宅時刻、登校時間がこれまでと大きく変わったため、まだ適切な学習時間や睡眠時間を身に付けることができていません。それらが今後の生活における僕の課題です。また、最初は息苦しい雰囲気

気だった教室も今はコミュニケーションが増えてきて、クラスの仲も深まってきたように感じます。これからの体育祭や高専祭などの行事ごとでさらに仲が深まるといいなと思います。

入学後の生活

比留田 董

入学から約二か月経った今、休み時間や、放課後、課外活動など様々な場面でクラスメイトどうしが仲良く話していたり、遊んでいたりする場面を多々見かけます。

高専での生活は慣れないことも多く、最初はとても戸惑いましたが、クラスメイトと協力しながら頑張ってきた。米子高専は新型コロナウイルスの影響で一時、休校になりましたが、その時の遠隔授業もクラスメイトと助け合い、慣れない作業も乗り切りました。

このことで、私を感じたことはクラスメイトと協力することの大切さです。一人じゃできないことも多くありましたが、頑張ってきたのはクラスメイトたちのおかげです。これからもクラスで協力しながら様々な困難を乗り越え、楽しい学校生活を過ごしていきたいと思っています。



4月12日 遠足



集合写真

1-2担任 渡 邊 健

【クラスの特徴】

初めはおとなしいクラスかと思いましたが、実は個性派揃いで男女とも面白いキャラが多いです。特活委員がクラスレクで神企画を次々に打ち出し、日に日に親睦が深まっています。

【どんなクラスになってもらいたいか】

- ①全員が自分の持ち味を発揮して、クラスの中で存在感を出せるようになってほしい。
- ②楽しいときだけでなく、困ったときにもそれを共有し助け合える仲間、切磋琢磨できる同士であってほしい。

【クラスの学生へのメッセージ】

みなさんは高専は技術を身につける学校だと思っているかもしれませんが、技術を真に活かすには幅広い知識が必要です。正しく考え判断する前提として、高専では授業や読書を通じて多くの良質な知識を得るようにしてほしいと思います。

米子高専に入学して感じたこと

安 部 花 佳

私は建築の勉強がしたくて米子高専に入学しました。ずっとあこがれていた学校に入学することができてとてもうれしいです。はじめは友達ができるかなどの不安も多くありましたが、仲のいい子もできて今は学校生活を心から楽しんでいます。私の兄も米子ではないですが高専に通っています。入学する前、兄から高専にはいわゆる「変人」が多くいると聞いていました。入



LHRでトランプ大会

学してからは「本当だ!」と感ずることや「意外と普通な感じだ」と日々感じたりしています。色々な人がいて毎日楽しいです。

今後の抱負ですが、この1年は勉強に力を入れて建築デザインコースに入れるようにしたいです。中学時代の友達もそれぞれ頑張っているようなので、私も負けずに頑張ります!

米子高専に入学して

加 藤 諒 一

僕は入学したとき、クラスに知り合いがいなかったのが不安でした。しかし、クラスのメンバーはみんな優しく、接しやすい人ばかりでした。また、高専には自分と同じような趣味(漫画、アニメ、ゲームなど)を持っている人が多く、気の合う友達ができました。最近は色々な人と話すことができていますので毎日が楽しいです。

高専に入る前から授業の進みが早いと知っていましたが、実際に授業を受けてみると想像以上に早く驚いています。新しい教科も増え、だんだん難しくなっていますが、新しいことを学ぶのは好きなのでこれからも頑張っていきたいです。まだまだ慣れないことの多い高専生活ですが、学校生活をもっと楽しんでいきたいです。



クラスTシャツ、作りました



集合写真

1-3担任 原田 桃子

【クラスの特徴】

明るさが特徴のクラスです。入学式直後は緊張した姿がみられましたが、今では和やかに学校生活を送っています。「日常」をととても楽しんでいる様子が見られます。

【どんなクラスになってもらいたいのか】

些細なことでも協力し合えるクラスになってほしいです。困っている人を放っておかない、積極的に手を差し伸べられる、困難なことに一致団結して立ち向かえる、そんな関係を築いてくれたらと思います。

【クラスの学生へのメッセージ】

修学ガイダンス初日に「考える癖をつけましょう」と話しました。自分の行動、発言が周りにどんな影響を与えるのかを考え、他者を思いやる心を育ててほしいと思います。クラス全員が笑顔で過ごせるようにしましょう！

高専生活スタート

田村 綾 梨

高専生活がスタートし、あっという間に1ヶ月半経ちました。3組は雰囲気良く本当に居心地が良いです。休憩時間はたくさん、笑い声や話し声も聞こえ、笑顔あふれるクラスです。また、話すことが好きな子も多く会話が弾みます。私自身、みんなと、だんだん気軽に話すことができるようになりました。毎日、学校が楽しくて充実しています。

学習の面では中学校の頃と比べ、パソコンを使用する機会やダンスなど、教え合う場面が増えました。今までは不安もありましたが、丁寧に教えてくださる先生方、優しく教えてくれる友達に出会えたおかげで、パソコンやダンスの授業も「楽しい」と感じるできるようになりました。

これからも3組のみんなと助け合い、毎日元気に学校に行き、心と身体どちらも成長できる最高の1年にしたいです。

友達との出会い

山崎 一 輝

高専に入学をしてよかったことは、寮があるため今までになかった出会いがあったことです。入学前は友達を作れるかがとても不安でしたが、高専の学生はフレンドリーな人が多く、すぐに友達が出来ました。1年3組の仲間の印象は、明るく元気で、積極的だと思っています。オリエンテーションは友達と話すいい機会になりました。また高専祭はすごく盛り上がると聞いているので楽しみです。クラス行事や高専祭を通して絆を深めたいです。

また、2年生になるとコース選択があります。自分の志望するコースにはいれるように、1日1日を大切にしていきたいです。定期テストは中学校の時より科目も増えるので予定を立て、早目に取り組みたいと思います。学級委員としてクラスの役に立つために頑張ります。



クラスTシャツを着用した1-3



集合写真

1-4担任 中島美智子

【クラスの特徴】

元気で明るいクラスで、自己紹介から盛り上がりました。また、クラス役員がすべて立候補で決まりました。「自分たちの力で1年4組を盛り上げよう」、そんな気概が伝わってくるクラスです。

【どんなクラスになってもらいたいのか】

人と人との出会い、縁を大切にしてほしいと思います。今後、いろいろな行事等がありますが、壁にぶつかりながらも協力し合って絆を深めることができるようなクラスになってほしいです。

【クラスの学生へのメッセージ】

「積小為大」、二宮金次郎の言葉です。小さいことを積み重ねて、大きなことを成し遂げるという意味です。継続は力なり。一日一日を大切に、充実した高専生活を送って下さい。

初めての寮生活

河本一真

私が米子高専に入学してからの一番大きな変化は、寮生活が始まったことです。私は正直、寮生活が始まる前は、とても心配で不安な気持ちになりましたが、それと同時に「ホームシック」というものを味わってみたいという気持ちもありました。

しかし、蓋を開けてみると、全くと言ってもいいほど、ホームシックにはならず、すぐに寮生活



教室での授業の様子

に慣れてしまい、期待外れというか、何とも言えない気持ちになりました。なぜホームシックにならなかったのかを自分なりに考えてみると、小学校の時に三日間ほど、大学生らと一緒に寝泊まりした経験があり、そのおかげで集団生活にすぐ慣れたのではないかという結論に至りました。

いろいろなことにチャレンジすると、それが思いがけない場面で役に立つことがあるのだと思います。高専でも様々なことに積極的にチャレンジしていきたいです。

高専での生活について

村田実咲

高専に入学してから、早くも一カ月が経ちました。ようやく高専生活にも少しずつ慣れてきました。初めて教室に入った頃からは想像もできないほどに、クラスの仲も深まり、ずっと「楽しい」ものになっています。友達もたくさんできました。私が特に印象に残っているのは、入学して初めてお弁当を食べた時です。それは、新しい友達の顔をマスクなしで見ることができたうれしい瞬間でした。みんなのニコニコと笑う口の表情は今でも脳裏に焼き付いています。マスクなしで過ごすことができる平穏な日常が早く戻ってほしいです。

これからの高専生活では、大変なことや辛いこともあると思いますが、自分の将来の夢をかなえるために努力して、5年間の高専生活を充実したものになりたいです。



工学基礎実験の様子



集合写真

1-5担任 大庭 経 示

【クラスの特徴】

まじめで明るく、何より「きちんと挨拶のできる」素敵なクラスです。打ち解けるのも早く課題などの提出の遅れもほとんどありませんね。また、困ったときにはきちんと相談してくれる点も嬉しくて安心できます。

【どんなクラスになってもらいたいのか】

互いに敬意を払って互いの個性を尊重して、だから安心して過ごすことができ、だからみんな主体性を発揮することができて、クラス行事ではその個性を集結することのできる、そんなのびのびしたクラスになってもらいたいです。

【クラスの学生へのメッセージ】

このクラスをどんなクラスにするのかを決めるのは私や田中先生ではなく、皆さん学生です。みんな協力して過ごしやすい楽しいクラスにしましょう！私と田中先生も42人のうちの2人として全力で協力しますからね。

2種類の授業

藤原 大 翔

入学してから早くも二か月が経ちました。その間に、対面での授業だけでなくリモートの授業も経験して、どちらにもそれぞれ利点と欠点があることがわかりました。

対面授業は、周りの仲間とコミュニケーションを取りながら学習を進められることが利点ですが、進行が速く時間内に理解できないこともあるのは欠点だと感じました。リモート授業は、自分のペースで学習を進められることが利点ですが、ひとりなので進め方が合っているか不安になることが欠点だと感じました。どちらの欠点も補う方法として、予習と復習が大切だと改めて感じました。

欠点ばかりを見れば授業は「大変」なことばかりと感じてしまいましたが、実技を交えた実践的でとても楽しい授業もあります。勉強、部活を中心に少しずつ努力を重ねて、高専での充実した「学生」生活を楽しんでいきたいです。

高専の印象

渡 部 しいな

高専に入学してからの1か月で私が感じた高専の印象として最も大きなものは、自主性の高い人がたくさんいることです。

ものづくりを学ぶ学校なので、目標に向かって課題に取り組むこと、何かを作り出すことに積極的な人が多いのは当たり前かもしれません。しかし、その姿勢はものづくりだけでなくいろいろな場面でプラスにはたらいていると感じました。私が今のクラスで感じたのは、新しい活動に積極的な人が多いということです。今までやったことがないことに対して、いきなり否定するのではなく、まずはやってみる、わからないことはきちんと訊くなど、前向きに取り組む姿勢が気持ちいいと感じました。また、教え合いの中で学生間のコミュニケーションも充実していると思います。こういった要素が、学生の活気や居心地の良さに繋がっていると思いました。



教え合う学生

留学生の紹介

3D ハジク

はじめまして！マレーシアからのハジクです。20歳です。米子高専に来る前に2年間日本語を勉強していましたがコロナウイルスのせいで、遠隔授業を通して日本語を勉強しますから日本語で話すチャンスがあまり無いです。だから、日本語がペラペラと喋れるようにもっともっと頑張ります！私はゲームや漫画を読むことが大好きです。日本の漫画はすごく面白くてすぐハマりました。皆さんと仲良くなりたいので遠慮なく話しかけてください。よろしくお願いします！

3A サラ

はじめまして。私はインドネシアから来たサラです。建築学科の3年生です。私の趣味は音楽を聴いたり、絵を描いたり、歌ったりすることです。高専でたくさんの友達を作りたいです！私は昨年東京に1年間住んで日本語を学びました。ただ、あまり得意ではないので、ここでの勉強や生活などに心配もあります。これから一生懸命頑張りますので、よろしくおねがいします。

編入生の紹介

4E 大橋 智 充

米子工業高校から電気情報工学科に編入してきた大橋智充です。高校では、情報系や危険物、電気系の資格取得に励みました。そのなかで電気系の科目に興味を持ち、もっと専門的なことを学びたいと思い、高専編入を選択しました。高校と高専では学ぶ内容に大きな差があるのでおいて行かれないように頑張ります。

4E 澤田 聖 也

米子工業高校から電気情報工学科に編入してきた澤田聖也です。編入から1か月半、まだまだ慣れないことも多くありますが、クラスメイトの協力もあり充実した学校生活を送ることができています。5月はコロナウイルスの影響もあり、遠隔で授業を受けています。対面授業に戻ったら、より一層力をいれて勉学に励んでいきたいと思っています。

4E 坪倉 佑太朗

米子工業高校から編入しました坪倉佑太朗です。編入してから早1ヶ月が経ち、学校の雰囲気にもようやく慣れてきました。高校で学んだこと以上のことを学んでみたいと思い、高専への編入を選びました。私は数学を始め各科目の基礎を高校で学んだ程度なので、現状は厳しいですが精進していこうと思います。これからよろしくお願いします。

4D 濱 多 研 輔

富山県立魚津工業高校から編入してきた濱多研輔です。富山出身ということもあり、クラスに馴染めるか心配でしたが、始業式の日に自己紹介をするクラスの前で拍手をしてくれました。温かい雰囲気のクラスに入ることができて本当に良かったです。今はそんな優しい皆さんに授業や課題のことを教えてもらってばかりですが、いつか教え合えるようになるまで勉強を頑張りたいと思います。これから2年間、よろしくお願いします。

4C 迫 田 優 奈

私は岡山県立東岡山工業高校の工業化学科から物質工学科に編入してきました。高校時代は資格取得と部活ばかりで勉強はあまりしていませんでした。しかし、たとえ高校では上位だったとしても、ここでは中位に入ることも難しいと思います。特に数学や物理は高校ではあまり学べていないので、先生やクラスメイトの力も借りながら、勉強を頑張っていきたいと思いません。これからよろしくお願いします。

専攻科入学生の紹介

生産システム工学専攻 山 田 優 生

私が専攻科に進学した理由は、本科での研究を続けて2年間取り組めるからです。私の研究は他高専や大学で行うことが難しいため本科での研究をさらに2年継続し成果を出すことができればエンジニアとして、社会人として大きく成長できると考えます。幅広い知識を身につけ社会に貢献できるように精一杯頑張りたいと思います。

物質工学専攻 那 和 洸 星

専攻科に入学して2ヶ月が経ちましたが、本科では学習しなかった学びを数多く吸収できていると感じています。特に、他学科の専門分野に関する内容にも触れる機会があるので、新たな発見や、他学科の学生とも繋がりを生むことができました。今後も、教養、研究ともに深いものを追究して、充実した日々を送れるように勤んでいきたいと思っています。

建築学専攻 村 上 尚 美

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないなか、入学から2ヶ月程経ちました。友人のほとんどは社会人や大学生となり、慣れない環境で日々努力しています。私達も専攻科生として、本科よりも専門的な知識の学習や、校外活動に取り組んでいます。また、国家資格である建築士取得に向けた勉強や、インターンシップなど将来を見据えた活動も行っています。

大変なこともあります。学生のうちにはできることは多く挑戦して、胸を張って修了できるように学友と切磋琢磨していきたいと思っています。

新任教員の紹介



機械システム部門 益田 卓哉

この度、米子高専に採用されたことを嬉しく思います。出身は徳島県で、鳥取県に来るまでに、岡山、東京、静岡、茨城と渡り歩きました。修士課程を修了した後、職業訓練所で7年間働きながら博士号を取得しました。専門は熱流体力学です。なかでも熱対流を数値解析により研究しています。数値解析のいいところは誰が計算しても同じ結果が得られることで、学生の皆さんにも研究の一翼を担ってみたいと考えています。あいにく高専の出身ではないので戸惑うことが多々ありますが、温かい目で助けていただけると幸いです。



化学・バイオ部門 礪山 美華

私は米子高専のOGで物質工学科卒業です。卒業後は、岡山大学理学部化学科へ3年次編入し、分析化学研究室に3年間所属していました。修士取得後は、地元企業に就職し、製品の成分分析関連の業務を4年間行っていました。同じ高専生として皆さんと似たような境遇を経験してきているので、寄り添えることも多くあると思っています。授業の質問に限らず、学生生活での悩み事や就職活動のこと、企業での業務経験など聞きたいことがあれば気軽に声をかけてください。どうぞよろしく申し上げます。



化学・バイオ部門 土田 裕介

化学・バイオ部門に令和4年4月付で着任しました。講義は生物系のものが比較的多いですが、実は元々の専門は物理化学でした。研究では、分子間の相互作用を量子化学計算からもとめ、分子の反応のしやすさを予測する研究を行っていました。授業ではなるべく、「どうしてこの現象が起きるの?」というメカニズムを大切に、授業展開をできればと考えております。低学年の授業も一部担当しておりますので、その際は何卒よろしく願いいたします。ちなみに、出身は和歌山で、実は皆様と同じくして「高専生」でした。



遠隔でも成長しています!

教養教育部門 保健体育分野 秋田 裕太

みなさん、こんにちは。私は健康・スポーツ科学Iおよび保健・体育Vを担当しています。この2ヶ月は大変でしたね。特に1年生は慣れないなか、最近使い始めたオンラインツールに戸惑いがあったと思います。初回の授業ではスマホで操作できる方が約半数でしたが、遠隔授業を明けて、ほぼ全員が操作できるようになりました。この状況に感動した一方、お家の方や同級生、先輩の協力があったのかなと思いました。私も1年生ですので、周りの方々に感謝する気持ちをいつまでも大切にしながら頑張ります。これからよろしく申し上げます。



教養教育部門 数学分野 柴田 孝祐

教養教育部門に着任しました、柴田孝祐と申します。授業は数学を担当しております。本校の建築学科を卒業し、その後九州大学数学科に3年次編入学をしました。博士後期課程の途中から弓削商船高専の教員を経て、この度母校の米子高専で勤めさせていただけることになりました。数学は工学における大事な基礎の一つですが、同時にそれ自体が実り豊かなものであることを、少しでも伝えることが出来ればと考えています。そして私自身も皆さんと一緒に色々なことを学んでいきたいと思っています。

キャリア支援室

キャリア支援室長 権田 岳

キャリア支援室は、職業・就業知識を身に付けたり、実地経験を積み重ねる機会を提供することで学生一人ひとりの人生設計を支援しています。女子学生が多い米子高専では、女性のための身だしなみ講座を実施するなど、女子学生のためのキャリア支援も積極的に行なっています。米子高専のキャリア支援は、地元の企業（米子高専振興協力会）と協力して行う新規授業科目「地域学（企業見学）」のように、地域とともに取組活動を行っている点に特徴があります。

米子高専のキャリア支援

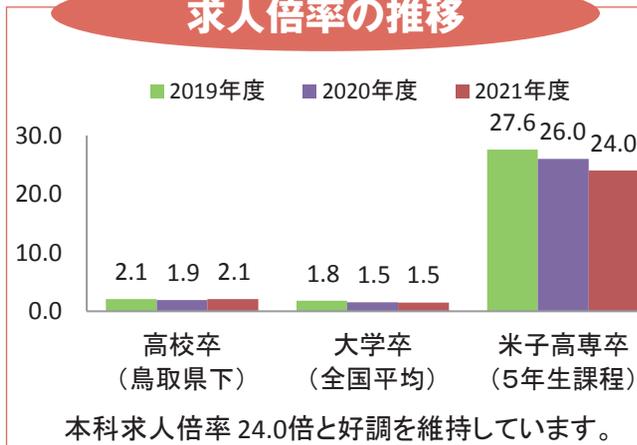
米子高専のキャリア支援は、1年生のキャリア講演会、2年生の地域学による地元企業見学、3年生での工場見学旅行による県外企業見学、4年生以上でのインターンシップや進路研究セミナーの開催など、学年進行に応じて自分の生き方を設計する力を身につけるための体制がとられています。

学年進行に応じたキャリア支援体制

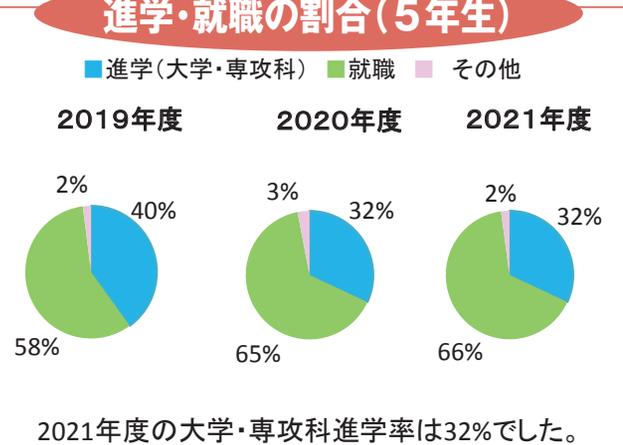
専攻科 2年	進路指導	資格取得支援
専攻科 1年	インターンシップ(10日間)	
	共同研究等(特別研究指導)	
本科 5年	進路指導、共同研究等(卒研)、キャリア講演会など	
本科 4年	校外実習(インターンシップ5日間)	
	進路研究セミナー(企業・大学合同説明会)など	
本科 3年	工場見学旅行(県外)、進路研究セミナー	
本科 2年	校外研修旅行(地域学:山陰の企業見学)	
本科 1年	高専OBによるキャリア講演会、地元企業見学など	

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部内容を変更して実施する行事もあります。

求人倍率の推移



進学・就職の割合(5年生)



新規授業科目「地域学」について

キャリア支援室長 権田 岳

米子高専が総合工学科に学科再編を行なって2年目の本年度は、本科2年生の新規授業科目として「地域学」がスタートしました。この「地域学」は、これまで企業見学のみを行っていた「オープンファクトリー」を全面的にバージョンアップし、本科2年生の授業科目として設定されました。2年次の半年間を使って、山陰地方の産業の成り立ちから現在までの流れを学び、企業研究を行なった後、10月に企業見学に出かける予定となっています。この「地域学」は、2年生担任団をはじめとする米子高専スタッフ、企業見学の受け入れをご担当される米子高専振興協力会の会員企業様が一丸となって運営する新しい形の授業です。



地域学 授業風景(企業研究)

朝の安否確認に関する MyiD からの保護者宛通知の開始について

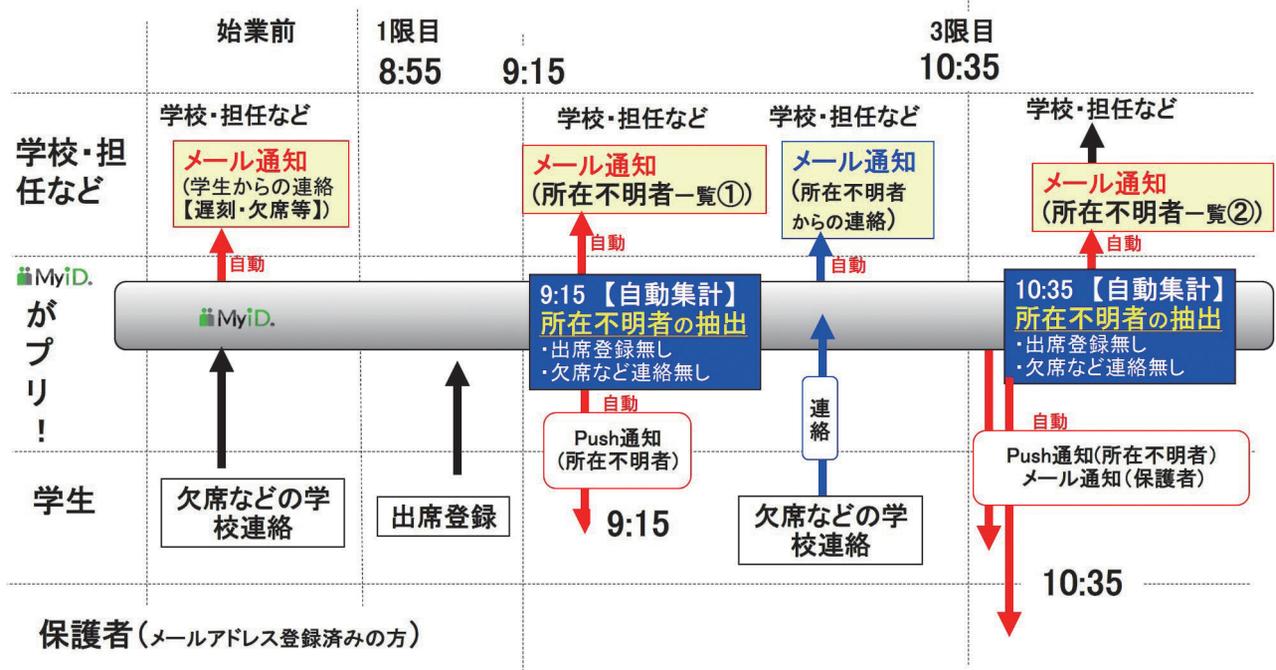
教務部 松岡 祐介

本校では昨年度より、スマートフォンを利用した「電子学生証アプリ (がプリ! / MyiD)」を導入しています。これにより学生は授業の出席登録や学校への欠席・遅刻の連絡をおこなっていますが、これは毎朝の安否確認を兼ねております。このたび令和4年5月より、朝10時35分までに安否確認ができない学生について、保護者様宛にその旨の通知メールを配信するよういたしました。本校としましては、学生の安心・安全な学修環境をご家庭と連携して築いていきたいと考えております。つきましては、MyiD へのメールアドレスが未登録の保護者様におかれましては、ぜひご登録いただきますようお願い申し上げます。

MyiD メールアドレス登録フォーム



(現在の学生所在確認フローのイメージ図)



・学生所有のパソコンの使用に際して

学校で各自が所有するパソコンを使用していることと思いますが、セキュリティ対策として定期的なアップデート、ウイルスチェックなどを実施してください。



広報室からのお知らせ

広報室長 角田 直輝 (情報システム部門)
 米子高専の最新の情報は米子高専公式ホームページから！今年度は広報の充実を進めていきます。その一環で、彦名通信のバックナンバーの電子化・公式ホームページでの公開を進めます。まずは第1号 (昭和45年12月) から第13号 (昭和48年3月) を掲載しました。「学校生活・進路」→「広報誌『彦名通信』」にあります。温故知新！ぜひご覧ください。
 また、中海テレビ放送で米子高専教員による「米子高専 知的セミナー」が放送されています。ぜひ

- ご視聴ください。
- 4月 「米子高専の学生による SDGs に向けた取り組み (廃棄物リサイクル)」
化学・バイオ部門 谷藤 尚貴先生
 - 6月 「遊びのなかの数学」
教養教育部門 柴田 孝祐先生
 - 8月 「専門分野で役立つ基礎数学」
電気電子部門 本村 信一先生 (予定)



学生会の紹介

学生会長 5E 小野 晃 季

学生会の例年の主な活動は、球技大会や高専祭、文化発表会などの学校行事の企画、運営です。近年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年度も高専祭での規模縮小や、模擬店の禁止など、制限の多い中での開催となりました。しかし、そんな中でも学生全員に楽しく参加してもらえるように、入念な準備を行いました。結果としては、盛り上がりには欠ける部分も見かけられましたが、「楽しめた」などの非常にうれしい声を多くいただきました。

先の見通しが難しい生活が続く中ではありますが、学生会執行委員を筆頭に学生全員が協力することで、今回以上に素晴らしい高専祭や球技大会などの学校行事、更には日々の学校生活を作り上げていくことができると私は思っています。

今年の私の目標としては、「学生全体から多く意見をいただける学校づくり」というものです。日頃から学生からの意見を最大限学校に反映できるよう活動しています。しかしその一方でお寄せいただいた意見が少ないと感じる場面も見受けられました。現段階では学生会の中での意見を集めている段階ですが、今後学生全体から意見をいただける様にしたいと考えています。すぐに実現することは難しいかもしれませんが、徐々に行動していくことで、今以上に活気のある学校になると考えています。それは、私たちが卒業した後になるかもしれませんが、そんな快適で楽しさ溢れる学校になってくれると嬉しく思います。そのためにも、今は私たちができることをひたすらに取り組んでいきます。



学生会員の集合写真(昨年度の高専祭終了時に撮影)

【剣道部】 全国高専体育大会に出場して

3E 三浦真歩

私は昨年12月18・19日に宮城県名取市の仙台高専名取キャンパスで開催された、第56回全国高等専門学校体育大会剣道競技の女子個人戦に出場しました。コロナウイルスの影響で延期になると聞いたときは、試合が中止にならないか本当に不安だったので、試合ができてとても嬉しかったです。初戦は緊張していましたが、試合開始と同時に気持ちを落ち着かせ普段通りの動きが出来ました。2回戦からは、とにかく勝ちあがるという気持ちでいっぱいだったので、試合中に何を考えていたのかはあまり覚えていません。しかし、とても集中した状態で冷静に技を出す事が出来たと思います。決勝戦は、相手の選手の竹刀の動きが特に速く、勢いや迫力もあり圧倒されて流れを掴まれてしまいました。

今回の大会で良かったところは集中を切らさず落ち着いて得意な技を出すことが出来たところです。悪かったところは、気持ちで負けて流れを変えることが出来ず消極的な動きになってしまったところです。強い選手は、相手の得意な技を分析したり自分の得意技を出しやすい場面をどう作るか想像したりと、休憩中も常に試合のことを考えていると知りました。次の高専大会に向けて改善し頑張りたいと思います。



表彰式後の記念撮影

【放送部】 令和3年度高専機構学生表彰受賞

放送部部长 4C 山崎晴日

この度、放送部は令和3年度国立高等専門学校機構学生表彰を受賞しました。放送部は昨年続き5度目の受賞となります。多くの部員が意欲的に活動に参加し、活発な活動ができたことが今回の受賞につながったと感じます。

約8年ぶりの参加となった東海ラジオ主催「高等学校ラジオ作品コンクール」課題ドラマ部門では、ラジオドラマ「レフレメアメアレナニレハ」が最優秀作品賞を受賞しました。発想豊かなストーリーの展開と表現力のある演技が評価され、受賞につながりました。

「高校生のための eiga worldcup」では自由部門・地域部門ともに優秀作品賞をいただきました。自由部門ではこのほかに3つの賞を獲得しました。両作品とも1・2年生のみでの作品制作となり、企画段階で躓くことがあったものの、一人一人の積極的な働きかけにより良い作品を作ることができました。

また、全米高校映画祭に日本代表として出場し、事務局から高い評価をいただきました。NHK杯全国高校放送コンテストでも全国4、5位の優秀な成績を取ることができました。昨年はコロナ禍で思うように活動が行えず苦しい場面もありましたが、そんな中でも放送部部員は現3年生を中心に日々技術力を高め、本当に仲の良い充実した部活環境を作ってくれました。その成果を認めていただき、このような結果につながったことを本当にうれしく思います。米子高専放送部をさらに知っていただけるよう今後とも活動を続けていきます。



校長への大会受賞報告



eiga worldcup 表彰式にて



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第114号令和4年6月 発行
米子工業高等専門学校図書館

図書館スタッフの紹介（その1）

皆さんが図書館を利用する際、図書や雑誌を借りたり、本の所在を尋ねたりすると思います。カウンターでの貸出・返却や、書架の整理などを担当しているスタッフを紹介します。気軽に声をかけてください。

学術情報係

小田 千晶

ついこの間桜が咲いたと思ったら、あっという間に梅雨の季節がやってきました。私が子供のころは、もっとゆっくり時間が過ぎて行っていたように思います。これは、私が大人になったからなのか、それとも変化に鈍感になったのか…。どちらにせよ、何にでも興味を持つ「童心」というものは、とても大切なもので、なおかつ忘れてはいけないものだと思います。それを踏まえて今回紹介する本はコチラ！『魔女の宅急便』 著：角野栄子



図書館スタッフ(カウンターにて)

ジブリ映画でおなじみの、赤いリボンがトレードマークの女の子のお話です。映画では、パン屋のおソノさんと出会い、お届け屋さんを始めるキキですが、実はたくさんの「荷物」をお届けしていたのです。どんなものを届けていたのかは、読んでみてのお楽しみです。

福原 佳奈

私の好きな小説の中に、川口俊和著「コーヒーが冷めないうちに」シリーズ、があります。コーヒーが冷めるまでの間、過去や未来に行ける喫茶店の中での、少し切ないお話です。実際は、過去に戻る事は出来ないけど、過去を振り返るのは大切な時間だと思える1冊です。

【専攻科生】

S2 平野 聡(生産システム工学専攻)

私のおすすめの本は『ホワット・イフ？：野球のボールを光速で投げたらどうなるか』です。この本を読むことで、物理学に対する親しみや、思考力を養うことができると思います。1年間よろしくお祈りします。

S1 山田 優生(生産システム工学専攻)

本校の図書館は各学科に対応した専門書の数が増えており日頃の勉学や実験での報告書等の参考にし

図書館スタッフ、図書委員の紹介

ていただければと思います。それ以外にもリベラルアーツコーナーや文庫本など皆さんの気になる本がきっと見つかると思います。ぜひ一度図書館にお越しください。

S1 衣笠 廉人(物質工学専攻)

普段はミステリーやサスペンスといった推理小説をよく読みます。なかでも好きな作品は東野圭吾さん著作の「探偵ガリレオ」です。至らぬ点も多々あると思いますが、1年間よろしく願い致します。

S1 小島 翼(物質工学専攻)

特別研究テーマは木材中のリグニンの分解反応の開発をしています。学校では実験室か図書館にすることが多いです。まだ慣れていない部分もありますが頑張っていくので今年1年よろしく願いします！

図書委員の紹介

今年度の各クラスの図書委員を紹介します。自己紹介も掲載しています。

5月31日(火)に第1回図書委員会を開催して、委員長・副委員長を選出し、今年度の活動計画について話し合いました。早速、6月21日(火)・7月19日(火)にブックハンティングを行うことになりました。

図書委員一覧

年・組	1	2	3	4	5
1	服部 新太	山本 憲政	阿部 奏	瀬田 有紗	久保 聖樹
2	藤原 ダイヤ	岡田 陽向	遠藤 諒悟	富谷 彩愛	藤井 奏
年・学科	M	E	D	C	A
3	吉田 健悟	王 梓安	○三井 朱寧	藤原 理央奈	梅林 蒼
4	江田 龍太郎	福井 琢真	福田 怜央	津村 紘華	◎川部 知歩
5	桑垣 怜央	森田 孝太郎	赤井 千珠	小川 滉生	山中 雄太

◎：委員長、○：副委員長



図書委員の集合写真(交流プラザで)

図書委員の紹介

1-1 服部 新太

世界史や日本史の説明文や論説文をよく読みます。おすすめの本は、「ヒトラーの時代」です。高専の図書館は大きく、小中学校の図書館にはなかった本がたくさんあるので、これからさまざまな本を見ていけたらいいなと思っています。1年間、よろしくお願いします。

1-2 山本 憲政

ミステリー小説が好きです。米子高専では今までよりも多くの本を読んで、知識を増やしていきたいです。今まで図書委員になったことはありませんが、本が好きなので、図書委員の仕事に精一杯頑張りたいと思います。これから1年間よろしくお願いします。

1-3 阿部 奏

私が図書委員になった理由は本が好きだからそれだけです。本が好きで中学の時、3年間図書委員で委員長もしてました。好きな本のジャンルはファンタジー、ライトノベル系です。持っている本はおそらく350冊以上で、友達がよく借りに来たり読みに来たりしてます。頑張りたいと思います。よろしくお願いします！

1-4 瀬田 有紗

好きな本は長野まゆみさんの『白昼堂々』『レモントルト』、綾崎隼さんの『死にたがりの君に贈る物語』です。3冊とも私にとって御守りのような小説で、不安な時や疲れた時に是非読んでいただきたい小説です。図書委員としての役割をしっかりやり遂げながら今まで読んでこなかったジャンルにも視野を広げていきたいと思っています。よろしくお願いします。

2-1 藤原 ダイヤ

図書委員として頑張ります。よろしくお願いします。私は恩田陸さんの「蜜蜂と遠雷」という本が大好きです。友人に勧められ、初めて図書館で見た時は思わず本棚に返してしまったほど、分厚くて文字が多い本ですが、一度読み始めれば、登場人物の視点が何度も交差しながら展開されていく物語に目が離せなくなります。最後まで読んだ本を書店で買ったのはこの本が初めてです。学校の図書館にあるのでぜひ読んでみてください！

2-3 遠藤 諒悟

私は今まで自主的に本を読むことがほとんどありませんでした。しかし高専に入学し情報収集能力の大切さを学びました。高専生は論文や



図書委員会の様子

専門書などから知識を得る場面が多くなると思います。普段から本を読んでいれば効率よく必要な知識を抜き出せると思います。だから私は図書委員会に入り読書の大切さを伝えていきたいと思っています。

2-4 富谷 彩愛

図書委員をするのは今年度で2回目になります。幼い頃から読書は好きでしたが、最近は専ら電子書籍を活用するようになりました。紙の良さを再確認するためにも今年は図書館に通おうと思います。好きな作家は伊坂幸太郎さんと知念実希人さんです。好きな小説は『陽気なギャングが地球を回す』です。よろしくお祈いします。

2-5 藤井 奏

主にライトノベルをよく読んでいます。図書館にも置いてある、「氷菓」という作品などが好きです。本を読むのが苦手だという学生も多くおられると思いますが、そんな方々にも本に対する興味をもってもらえるような活動がしたいです。図書委員の経験はありませんが、自分の仕事はしっかりとやり切りたいと思います。1年間よろしくお祈いします。

3M 吉田 健悟

初めての図書委員で分からないことも多いですが、よろしくお祈いします。中学では本を読んでいたのですが、高専に入り本を読む機会が減りました。この機会に本を読み、皆さんに本をおすすめしていきたいと思っています。1年間よろしくお祈いします。

3D 三井 朱寧

昨年に引き続き図書委員になれてとても嬉しく思っています。今回私が紹介する作品は、道尾秀介さんの「N」です。この作品は普通の小説とは違い、6つの章を読む順番が決まっていません。読む人によって物語が変わります。組み合わせはなんと、720通り。どこから読んでも成立

する、今までの読書の常識が覆される作品です。ぜひ読んでみてください。

3C 藤原 理央奈

私は図書館で本を借りる際、よく「図書委員おすすめの本コーナー」から借りていました。今年は私も図書委員として、本の魅力を少しでも多くの人に伝えられたら良いなと思います。私が今回おすすめしたい本は、「面白くて眠れなくなる化学」です。化学が嫌いな人、興味が持てない人もこの本を読めば、【実は化学が関与していた日常】を知り化学の面白さを感じられるはずです。ぜひ読んでみてください。

3A 梅林 蒼

初めて図書委員になるので分からないことばかりです。小・中学生の頃は「星新一」さんの作品をよく読んでいましたが、高専に入学以降本と触れ合う機会が減り、読まなくなってしまいました。米子高専の図書館は建築関係の資料を調べるときくらいでしか使っていません。だから今年は資料だけでなく、様々な本と触れ合って新しい価値観を勉強していきたいです。

4E 福井 琢真

私は主にファンタジーやミステリー小説を読みます。高専生になってからは小説を読む機会は減ってしまいましたが、これを機に改めて小説



図書委員会の様子

図書委員の紹介

に触れてみようと思います。中学生の頃によく読んでいた小説は「ビブリア古書堂の事件手帖」です。よろしくお願いします。

4C 津村 紘華

米子高専の図書館はきれいで本も小説から専門書までたくさんのジャンルの本が揃っています。普段あまり図書館に行かない人にも知ってもらえるように1年間頑張りたいです。

4A 川部 知歩

今回初めて図書委員になりました。分からないことばかりですが、高学年にも図書館に来てもらえるようにいろいろ取り組みたいです。

5M 桑垣 怜央

今回初めて図書委員を務めるので分からないことが多いと思いますが、1年間頑張っていきたいです。私は中学校の頃はよく小説を読んでいたのですが、高専に入学してからはほとんど読まなくなりました。なので、これを機にまた小説を読もうと思います。また、おすすめの小説

があれば教えてほしいです。図書館にはレポート作成やわからない問題を解くために立ち寄る人も多いと思いますが、その際に図書館内を見て回るのも良いと思います。面白い本を見つけられるかも知れませんよ。

5E 森田 孝太郎

高専に入ってから委員会に属したことがなく、はじめて委員会というものに属しました。本校のクラスター指定に続き、ゴールデンウィーク明けの遠隔授業とその延期など、例年より活動内容が少なそうな年ですが、無事に委員会の仕事ができたらいいなと思います。

5A 山中 雄太

最後の委員会活動なので楽しく、意欲的に活動できたらなと思います。私のおすすめの本は「言い訳 関東芸人はなぜM-1で勝てないのか」です。人を笑わせるということを論理的に説明している内容で新しい発見や価値観を多く得ることができました。3年ほど前の本ですが、私がこの1年で読んだ本の中で一番面白く、お笑いが好きな人におすすめです。



図書委員の集合写真(ウッドデッキテラスにて)

図書館スタッフの紹介（その2）

図書館長 加藤 博 和(教養教育部門)

昨年度に引き続き図書館長2年目を務めます(リベラルアーツセンター長も兼務しています)。1年間務めていろいろなことが分かったり、従来のやり方を変えてみたり改善できた(と思う)こともあります。が、できなかったことや新たな課題などに今年度で取り組んでいきたいと思えます。

最近借りた本:中村朱美『売上を、減らそう。たどりついたのは業績至上主義からの解放』(ライツ社)、原田曜平『Z世代 若者はなぜインスタ・TikTokにハマるのか?』(光文社新書)(高専の図書館で)。原晋『逆転のメソッド 箱根駅伝もビジネスも一緒です』(祥伝社新書)(米子市立図書館で)。

副館長 玉井 孝 幸(建築デザイン部門)

本は、現在の技術基準などをまとめた意味の他、後年に科学技術の歴史や変遷、また、これまでの技術者の苦勞を知るものでもあります。現在ではインターネットで様々な情報を得ることができますが、情報の確かさを確認する必要があります。書籍は、その確かさの保証がある反面、必要な情報を探するのが大変です。学習や研究をする上で、図書館を利用して、多面的な調査研究をおこなって欲しいと思っています。

学生課長 坂野 豊 和

その本との出会いは偶然なのか必然なのか。もしもブックハンティングが企画されていなければ、もしも選んだ学生が参加していなければ、もしも図書館に立ち寄った際ディスプレイされていなければ。そんな数々のもしもの積み重ねを経てその本との出会いは訪れた。選んだ学生に感謝の気持ちを伝えたい。と思っているのか思っていないのか、とくに調べることもなくそのままにしている。せっかくなのでこの場を借りて。ありがとう。

学術情報係長 小村 浩 史

昨年の7月から担当しています。私は楽器を演奏するので、音楽関係の本を探しに、図書館を利用することがあります。米子高専の図書館にはいろんな本があります。無い本は他の図書館等から取り寄せることもできますので、リクエストしてください。まずは図書館に入って、本を手にして見てください。新たな興味が見つかるかも…。

図書館業務・活動記録

4月7日(木) 編入生・留学生への図書館ガイダンス・オリエンテーション	4月26日(火) 1年生(1-2、1-3)の図書館オリエンテーション
4月13日(水) 1年生への図書館ガイダンス(修学ガイダンス)	5月9日(月)~20日(金) 登校禁止に伴う臨時休館
4月19日(火) 図書部会(第1回)	5月20日(金)~6月30日(木) 鳥取県立図書館から蔵書借用・配架
4月19日(火) 1年生(1-1、1-5)の図書館オリエンテーション	5月31日(火) 図書委員会(第1回)
4月25日(月) 1年生(1-4)の図書館オリエンテーション	6月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日) 前期中間試験時の開館
4月26日(火) 鳥取県立図書館からの来館対応	

図書館からのお知らせ

令和4年度からの開館カレンダーの変更について

図書館は今年度は、土曜日は原則閉館（休館）とし、定期試験前1週間の土日祝と定期試験中の土日祝は開館します。

定期試験時の開館日（開館時間は10時～15時です）

前期中間試験：6月4日（土）・5日（日）・11日（土）・12日（日）

前期期末試験：7月30日（土）・31日（日）・8月6日（土）・7日（日）

後期中間試験：11月23日（水・祝）・26日（土）・27日（日）・12月3日（土）・4日（日）

学年末試験：2023年1月28日（土）・29日（日）・2月4日（土）・5日（日）

その他の開館日時（例えば長期休業期間中）についても、図書館ホームページに掲載している「図書館カレンダー」で確認して利用してください。

米子高専図書館についての学生アンケートの結果

学生の皆さんに、3月3日～11日の期間でMicrosoft Formsを使って、図書館についてのアンケートに回答してもらいました。220名の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

その集計結果を図書館ホームページ（2021年度の新着情報）に掲載しています。この結果も参考にして、図書館サービスの改善・充実等を図っていきたいと思います。

飲料自販機の設置等

図書館に併設されているウッドデッキテラスに、飲み物の自動販売機を設置しました。

図書館内で、水筒やペットボトルなどきちんとフタを閉められる容器に入った飲み物については、水分補給や熱中症対策の一環として、飲みます。

テラス側の自動ドアも開放していますので、白砂会館・学生寮⇄図書館情報センター間の出入りに利用してください。



【テラス】自販機の設置（自動ドアの開放）

美化に努め、図書館・ウッドデッキテラスで快適に過ごしてもらえたらと思います。

パーテーションの設置

図書館の自習机に、パーテーションを設置しました。

これは、コロナ対策の一環であるとともに、プライバシーを保護したり、周囲を気にせず勉学に励んだりできる目的などもあります。

閲覧室・交流プラザともに設置しています。パーテーションは動かすこともできます。

図書館で安心して快適に過ごしてもらえたらと思います。



【交流プラザ】



【閲覧室】

自習スペース（パーテーションの設置）

写真同好会による写真の展示

図書館と写真同好会がコラボして、館内に（書棚などに）写真を飾りました。

館内が彩られて、アートな図書館になっています。本を探しながら写真を眺めたり、写真を眺めながら本を探したりしてみてください。

今後、小さい写真も10点近く置く予定ということです。楽しみにしたいと思います。



こんにちは、写真同好会です。

4月から僕たちの写真を図書館に常設展示することになりました。いたるところに写真が散りばめられていますので、是非見にきてください！

季節ごとなどで入れ替えや配置替えなども行う予定ですので、今後も楽しみにしてください！



部門推薦図書、AI・数理データサイエンス分野の参考図書の紹介

各部門から推薦された図書（雑誌）を図書館に配架しています。M：15冊、E：16冊、J：17冊、C：6冊、A：15冊、G：37冊の合計106冊です。

昨年度、選書のガイドラインを作成し、①1・2年生にも分かりやすい入門的な図書、②3年生以上を対象とした探究的な図書、③当該部門（コース）に関連する、広く学生の興味・関心を喚起する図書、④高校生・大学生の時に読んでほしい図書、⑤教養を高められるような図書（リベラルアーツに関する図書）、⑥その他当該部門（コース）において学生に必要と考える図書を推薦してもらいました。



また、昨年度のCOMPASS5.0予算で購入された、AI・数理データサイエンス分野の学生用参考図書（15タイトル）が図書館に寄贈されました。『絵と図でわかるデータサイエンス』（上藤一郎、技術評論社）、『教養としてのデータサイエンス』（内田誠一他、講談社）などです。

1年生の専門コース選択や、AI・数理データサイエンスの理解のためにも、図書館を活用してください。

後援会の図書館援助費による図書の購入

昨年度、米子高専後援会からの支援を受けて、図書館に79冊の図書を購入・配架しました。

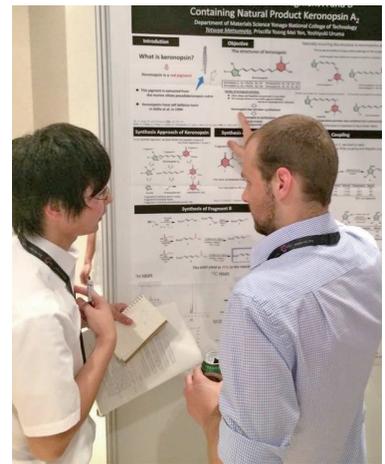
昨年度開催した読書感想文コンクールの入選作品で取り上げられた図書、同じくビブリオバトルで紹介された図書、学生からリクエストのあった図書、その他ヤングアダルト、ノンフィクション、新書やリベラルアーツ関係の図書を選書しました。

卒業生は今 vol.27



松本 竜弥

2013年3月 物質工学科卒業
2015年3月 専攻科物質工学専攻修了
2015年4月 旭化成株式会社入社
現在 同社 研究・開発本部 化学・プロセス研究所プロセス開発部 勤務



専攻科生時代(機関研所属)の学会発表

■現在の業務

私が働く旭化成は今年創業100周年を迎えた国内有数の総合化学メーカーで、マテリアル(繊維・ケミカル・エレクトロニクス)、住宅(住宅・建材)、ヘルスケア(医薬・医療・クリティカルケア)の3つの領域を中心に幅広く事業を展開しています。旭化成といえば、サランラップ、ヘーベルハウスのイメージが強いと思いますが、他にも衣類・断熱材・スマホの電子部品・医療機器類・車の部品等、皆さんの生活に関わる製品も製造しています。その中で、私はカーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)実現に不可欠なカーボンリサイクル(CO₂を有用な化学品に転換)に関わる製造プロセス技術開発に携わっています。製造プロセス技術開発を分かりやすく言うと「ある化学製品を作るために最適な条件を考えて工程を設計すること」です。業務としては基礎研究結果を基にして小型設備によるスケールアップ検討、生産設備設計に必要なデータ採取などで、基礎研究から事業に繋げるために必須の開発業務です。

■私の進路の選択について

私は本科卒業後に専攻科へ進学しました。専攻科を選択した理由は慣れた環境で落ち着いて勉強・研究・就活ができることに魅力を感じたからです。他にも専攻科の魅力は、学士授与、技術士になるための一次試験の免除、難関大学院への進学実績等があります。私が専攻科から就職した理由は、高専で身につけた知識や技術を活かして企業で早く活躍したいと考えたからです。旭化成を選んだ理由は、企業研究を進めていく中で「旭化成で自分の知識や能力を活かして働きたい」という思いが強くなったからです。総合化学メーカーの強み、多くの技術、社風、社内制度等に魅力を感じました。また、専攻科卒で研究・開発部門への配属割合が高いことを企業説明会等で知ったこと、高専卒が大学卒のグループ枠に転換できる人事制度があることも決め手になりました(私は入社6年目にグループ枠を転換しました)。

■後輩の皆さんへ

・全般

高専卒者が持っている専門知識と実践的な経験や技術は、企業から即戦力として評価されています。就職、進学どちらにしても専門科目の勉強は重要なので真剣に取り組んでください。また、近年ビッグデータやAIなどの情報処理技術が進展しています。専門科目だけではなく情報処理技術についても重要になってくるので、関連した授業があれば基礎知識を習得しておくと思いいます。

・就活について

近年、各業界で大きな変化が起きています。地球温暖化対策としてカーボンニュートラルに関する取り組みが進み、化学業界も例外ではありません。このような状況下で自分が「何を大切にするか」、「何をしていきたいか」を考えることが重要だと思います。就活で考えることは業界、業種、企業規模、社風、待遇、勤務地など色々あります。何を大事にするかは人それぞれですが、初任給や業種などで決めず自分に合った企業を見つけてください。企業研究は重要なので多くの情報を集めて、まずは企業選びの軸を決めてください。仕事のイメージがつかない場合は「高専Link」というサイトに高専卒で就職された先輩方の情報が載っているので、参考にしてみたら良いと思います。



仕事場での様子

※記事中において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システム部門)、E…電気情報工学科(電気電子部門)、D…電子制御工学科(J…情報システム部門)、C…物質工学科(化学・バイオ部門)、A…建築学科(建築デザイン部門)、G…教養教育部門、S…専攻科
例えば、「5M」は機械工学科5年生を表しています。

発行：米子高専広報室

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009
ホームページ：https://www.yonago-k.ac.jp/ 印刷：東京印刷株式会社